

事業報告書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

公益財団法人 和敬塾

1. 事業の概要

当法人は、「和敬塾設立趣意書」にあるとおり、創立者 前川喜作が私財を寄付して昭和30年に民法第34条の財団法人として設立された、男子大学生の人間形成を目的とした学生寮であり、平成24年2月1日をもって公益財団法人へ移行いたしました。

本年度も、「和敬塾設立趣意書」並びに財団設立の趣旨である「共同生活を通じた人間形成の場」としての和敬塾が、如何に社会において重要であるかをより強く認識し、より一層その充実を図ることを期し、我が国並びに世界の為に有為な若者が和敬塾を巣立つべく、「公益財団法人和敬塾定款」第4条にもとづき以下の事業を行ないました。

塾職員が一体となり、共同生活の質の向上をはかり、新しい時代の流れに沿った徳育教育の場を共創するべく運営いたしましたので、次に、各項目に関してご報告いたします。

(1) 学生寮並びに研修施設・体育施設・生活施設の運営（1号事業）

① 共同生活の場である各施設的良好なる状態の維持の為に改修工事等

*改修工事として、塾事務所の改修工事（7月）、学生ホール3階トイレ改修工事（8月）、学生ホール2階女子トイレ天井補修工事（8月）、食堂食料倉庫改修工事（8月）、食堂厨房ダクト工事（8月）、巽寮居室改造工事（8月）、自転車置場改修工事（10月）、本館タワー防水工事（10月）、大講堂内装補修工事（3月）、食堂男子休憩室改修工事（3月）、南寮シャッター取替工事（3月）、学生ホール3階小講堂床張替工事（3月）を行なった。

*保護樹木の剪定を行なった。（8月）

② 南寮の新築若しくはリニューアルの検討

*平成25年度版資産取得計画並びに長期修繕計画にもとづき、学生ホール、南寮、乾寮は、耐震工事等のリニューアル工事を行ない、登録文化財として維持・保存に努めることとなった。

*尚、他に和楽荘、道場も登録文化財への申請を検討中である。

(2) 入寮学生の共同生活による修養、研鑽への援助（2号事業）

① 入塾式、塾祭、早朝スポーツ大会、山の手一周ハイキング、体育祭、予餞会、シンポジウム、日本伝統歳事の実施

*新入生受入れ行事、創立記念塾祭、各寮対抗競技の体育祭、予餞会の四大大行事を企画し実行することによって自主性、協調性を養い、全員で感動を共有する共同体意識を醸成し、自らの人間形成に資するよう実施した。

*これらの行事は後述の月別実施経過の通り、塾生委員会を中心として活発に行なった。

② 教養講座（中国古典輪読会・直心影流法定・棋道・書道・茶道・坐禅・居合道・絵画研究会・柔道・剣道・空手道・グレートブックス研究会等）の推進・強化

*教養講座の運営に関しては、塾全体の教養講座に対する認識を共有する等、塾生の主体性を高めている。

- ③ 塾生委員会が主催する年間行事の指導
- * 各行事（体育祭・早朝スポーツ大会・山の手一周ハイキング等）に関しては、その目的・意義を認識させ塾生が主体性をもって企画、実施、反省を行なうよう指導した。
- ④ 一年生面談及び年末一・ニ・三年生継続面接の実施
- * 寮長、副寮長が、塾生と個別に面談し、それぞれの生活実態について話し合い、より人間的な成長を促した。
 - 具体的には、6月～7月にかけて新入塾生と面談し、それぞれの父母へ、大学生として初めて共同生活を体験した心の変化や成長を伝えた。また、12月～1月にかけては一年生、二年生、三年生と対話し、自分の役割を気づかせ継続在塾の意志を確認している。
- ⑤ 寮長及び副寮長による塾生委員会活動への参加
- * 各寮委員会の会議、各寮総会への参加並びに日常生活での場면을捉えて行なった。
- ⑥ 塾誌「和敬」の発行
- * 10月に「和敬塾の新歓行事」を主なテーマとした塾誌「和敬91号」を発行した。
- ⑦ 外部学生との交流会、パーティ、サークル活動等への支援
- * 7月5日から6日にかけて、中華民国大学生訪日研修団と当塾塾生との交流合宿が和敬塾本館にて行なわれ、塾内見学、茶道体験、歓迎夕食会、討論会などを通して文化交流を行なった。
- ⑧ 塾役職員と委員会による和敬塾共同体の質を高める研究会の開催
- * 9月13日に「平成24年度前期全塾研修会議」並びに12月22日から23日にかけて「平成24年度全塾宿泊研修会議」として塾役職員、各寮塾生代表により開催し、日常生活の質の向上を目指し討論を行なった。
- ⑨ 塾友会との各種情報交換
- * 和敬塾卒塾生のOB会である塾友会との連携を深めるため、「毎月一回の定例情報交換会」を開催するとともに、「企業研究会」、「賀詞交歓会」、「ホームカミング大会」等への協力も行なった。
- ⑩ 所轄官庁の協力による防災活動
- * 入寮式当日、新入生を対象としアルコールパッチテストを実施した。
 - * 塾生の防災意識の向上、人命救助に対する意識の向上を図るため、小石川消防署の協力を得て、3月19日に防災訓練を行なった。
 - * 防災倉庫、備蓄食糧庫、災害時用諸機材の点検などを定期的に行なっている。
- ⑪ 地域社会との交流を目指した餅つき大会、近隣美化活動等の実施
- * 地域住民との交流を深めるため、餅つき大会や各講演会へ近隣住民を招待するとともに、塾生の地域社会に対する奉仕の実践の場として、地域の美化活動等を行なった。
- ⑫ インターンシップ支援のための企業との連携
- * 大学関係者、企業説明会参加企業関係者の諸氏からの意見を参考に、鋭意、研究を進めている。
- ⑬ 国際的に活躍する人材の育成
- * 留学支援制度の発足等を、鋭意研究中である。
- ⑭ 和敬塾固有の国際交流
- * 留学生向けの講演会の開催等を端緒として行ない、鋭意研究中である。
- ⑮ 教養講座を通じた留学生との文化交流
- * 教養講座のみならず、平成25年度より留学生支援センターを発足し、活発化を予定している。

- ⑩ 災害防止並びに災害時への対応、また、それを通しての災害援護者の養成
 - * 3月に全塾防災訓練を実施、今後は、全塾防災担当寮を決め救命講習、消火訓練、防災訓練の定例化を予定している。
- ⑪ 塾生の外部活動をフィードバックし、塾生活の活性化を図る
 - * 寮毎に、塾生の外部活動をテーマに発表会等を開催した。

(3) 講演会、講座、討論会等の開催（3号事業）

- ① 入塾式、塾祭、体育祭、予餞会での記念講演並びに演奏会
 - * 後述の通り、各界の有識者をお招きして開催した。
- ② 役職員並びに講師と塾生代表との懇親会
 - * 新・旧塾生委員会会議、講演会、シンポジウム等の終了後、質疑応答を兼ねて行なった。
- ③ 講演会、教養活動、シンポジウム等の活性化
 - * 入塾式、塾祭、体育祭、予餞会等の行事を中心に行なわれる講演会並びにシンポジウムでは、質疑応答の時間や講師との対話をする場を設けた。
 - * 異寮寮生による、学部生も参加できる研究発表会等を行なった。
- ④ 別冊「和敬」による講演記録の発行
 - * 別冊「和敬」第41号として、理事長 前川正雄による入塾式記念講演「和敬塾、これからの五十年 - 二十一世紀における日本の場所主義」、第42号として、理事長 前川正雄によるシンポジウム「場所主義について」の講演記録を発行した。
- ⑤ ホームページによる和敬情報の発信
 - * 塾生の日常生活や各種行事の掲載や適時の更新を行ない、情報発信力を高めている。
 - * 寮毎に、塾生によるホームページを公開し、情報を発信している。
- ⑥ 三・四年生の為の企業説明会
 - * 企業説明会を計16回にわたり開催した。協力していただいた企業は、計15社であった。（千代田化工建設株式会社・株式会社メンバーズ・株式会社北陸銀行・富士電機株式会社・花王株式会社・キリンビール株式会社・月島食品工業株式会社・東京エレクトロン株式会社・株式会社東芝・大成建設株式会社・日本たばこ産業株式会社・ダイドードリンコ株式会社・大正製薬株式会社・株式会社ウェザーニューース・株式会社フージャーズコーポレーション）
- ⑦ 留学生の就活支援を含めた懇談会の開催
 - * 塾主催、塾友会主催、塾生主催等、日本人学生と共に行なった。
- ⑧ 教養講座の公開によるその活性化並びに地域との密着・貢献
 - * 可能性のある教養講座に対して検討を依頼、現在、絵画教室並びに書道部が公開中である。
- ⑨ 「和敬学」（和敬力の考察・和敬塾の将来像）の研究
 - * 理事長の講演会をもととして、進行中である。今後、平成25年度に学生を含めた研究会を発足させ、創立60周年記念シンポジウムにおいて、発表の予定である。

(4) 奨学金の貸与（4号事業）

- ① 学部生16名に貸与した。

(5) 東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」の保存並びに活用（5号事業）

- ① 本館文化財指定に基づく一般公開
 - * 概ね各月2回程度を目処とした自主公開並びに東京都主催による文化財ウィークにおいて一般公開を行なった。

② 次期保存工事の為の調査

*平成18年版「旧細川侯爵邸（和敬塾本館）保存活用計画報告書」をもとに、個別工事内容に関して検討中である。

(6) その他、4条の目的を達成するために必要な事業（6号事業）

① 塾生募集活動

*オリジナルDVDの作成、テレビ放映、塾友会からの支援、塾職員並びに塾生の高校訪問等を通して行なった。

② 地積確定

*費用総額が過大になる虞がある為、数次に分け行なうこととした。

平成24年度年間事業実施経過

月	日	全塾	年間行事・催事					
			東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮
4	初旬	新入塾生歓迎行事 入塾式・記念講演 (前川正雄 理事長)	新入塾生歓迎行事					
	8		入塾式(北寮担当)					
	21		花見					
	下旬	評議員会 入塾選考面接終了(留学生)	新入塾生歓迎会(委員会主催) 新歓行事反省会(委員会) 寮内環境整備(体育厚生部) 班会議 塾祭準備	寮生総会(新入生紹介) 新入生-先輩お部屋廻り 新入生-お立ち台 新歓終了BBQ大会 新西寮生誕生祝賀会	合同ハイキング 前期第1回総会 新歓委員会総括	新入生歓迎コンパ 留学生歓迎コンパ 委員会総会(前期活動方針等) 塾祭準備	新入生お部屋廻り 新入生歓迎パーティ 教養講座活動開始	新入寮生歓迎パーティ
5	12	フレッシュマン劇	塾祭・三年生劇(西寮担当)					
	13	塾祭・記念公演(りん&とも)	早朝スポーツ大会(乾寮担当)					
	17	早朝スポーツ大会開始	フレッシュマン劇参加					異寮塾祭記念音楽会
	中旬	前年度募集活動総括	塾祭反省会(委員会) 寮内環境整備(体育厚生部) 班会議 近隣清掃	新入生受入れ行事総括会議	塾祭反省会	塾祭反省会	早朝スポーツ大会準備	部屋移動希望調査 新部屋割決定・移動
6	9	理事会	山の手一周ハイキング(南寮担当)					
	中旬	寮長・副寮長による一年生面談	新歓行事総括(委員会) 寮内環境整備(体育厚生部)					異寮研究発表会
	16	山の手一周ハイキング	東寮感謝祭(文化総務部) 桜都寮との交流会(文化総務部) 班会議					
	23	評議員会	一年生面談					
	下旬	留学生募集開始(9月生)						
7	5-6	日華学生交流会	日華学生交流会(東寮担当)					
			一年生父母への近況報告					体育祭参加種目の打合せ
			前期委員会活動総括 寮内環境整備(体育厚生部) 近隣清掃(体育厚生部) 班会議	西寮会議(前期活動総括) 3年生会議(後期役員選出)	夏期休暇前の寮内大掃除 後期委員会候補選出	3年生学年会 (委員長候補選出) 後期委員長候補立会演説会 後期委員長選出	前期テスト集中月間 委員会大掃除実施	異寮研究発表会
8	初旬	塾生募集会議(H25年度募集計画)	塾生募集協力(在塾生母校訪問)					
	上旬	1年生による母校訪問	寮周辺環境整備					
	8	貯水槽定期検査・清掃	後期委員会メンバー選出 後期委員会と方針打ち合わせ	寮事務所・寮生懇親納涼会 寮生総会(前期事業報告・ 後期役員選出)		北寮和敬合宿 体育祭準備会合 北寮内外大掃除 (寮事務所・寮生納涼懇親会)		
	18	食堂設備点検・消毒						
	12-19	塾事務所、食堂、施設夏期休暇						
9	上旬	留学生入塾面接	体育祭結団式					
	13	前期全塾研修会議	体育祭(南寮担当)					
	14	体育祭開始	後期委員会発足					
	21	平成24年度後期新旧委員会会議	後期新旧委員会会議					
			東寮後期総会 後期委員会と打合せ 寮内環境整備(体育厚生部) 班会議 体育祭実行会議(体育厚生部) 留学生受け入れ行事	寮生総会(後期事業計画) 寮事務所・委員会懇親会 秋入学新入生受入れ行事	前期第2回総会 及び後期委員長選出	委員会総会 (前期活動報告・後期活動方針) 全塾体育祭準備会議	前期全塾研修参加 寮生総会(後期事業計画 前期事業報告・次期委員長 及び部長選出) 秋入塾留学生歓迎会	異会総会(次期役員選出)

月	日	全塾	東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮	
10	7 15	体育祭本祭競技・表彰式 塾誌「和敬」91号発行	体育祭本祭（南寮担当）						体育祭打上げパーティ 秋期新留学生面接、受入れ
			体育祭反省会（委員会） 寮内環境整備（体育厚生部） 班会議 留学生交流イベント（国際部）	体育祭反省会	体育祭反省会	体育祭反省会			
11	初旬 初旬 初旬 9 26-28 29 下旬	高校訪問（役職員） 次年度募集資料送付（高校等） 入塾選考面接開始 シンポジウム（前川正雄 理事長） 火災報知器点検 シンポジウム（徳山日出男国交省 東北地方整備局長） 在塾生継続面接開始	在塾生継続面接開始 シンポジウム（東寮担当）						在塾生アンケート 異寮研究発表会 部屋移動希望調査 新部屋割決定、移動
			予餞会準備（文化総務部） 近隣清掃（体育厚生部） 寮内環境整備（体育厚生部） 桜都寮交流会（文化総務部） 班会議 WACKY（ライブ音楽祭）開催		予餞会準備（文化部） 暖房開始準備	北寮フリーマーケット 予餞会準備（文化総務部）	予餞会準備（文化広報部） 卒業・進路確認		
12	9 26 28 22-23	予餞会 記念講演会（カート・ト ン在日米国大使館首席公使） 餅つき大会（近隣住民招待） 食堂設備点検・消毒 全塾宿泊研修会議	予餞会（乾寮担当） 在塾生継続面接 餅つき大会（東寮担当） 全塾宿泊研修						
			部屋移動の申請と調整（文化総 務部） 寮内環境整備（体育厚生部） 卒業退塾予定の確認 班会議	卒塾生歓送会 西寮ライブコンサート	卒塾生歓送ダンスパーティー 卒業退塾予定確認 年末寮内大掃除 部屋移動申請と調整 新3年生会 塾生募集協力 （在塾生母校訪問）	進路研究会参加（塾友会主催） クリスマスパーティ 予餞会反省・全塾合宿準備 部屋移動通知 北寮内外大掃除 （寮事務所・寮生懇親会）	卒塾生送別会 全寮ライブ参加		
1	8 中旬 下旬	鏡開き 在塾生継続面接終了 塾生部屋移動・居室整備	鏡開き参加（居合道部担当） 部屋移動開始						学部生寮からの新入寮生面接 外部からの新大学院生面接
			2年生会開催 （前期委員会発足に向けて） 1年生会開催（新歓について） 寮内環境整備（体育厚生部） 班会議	西寮会議（部屋移動方針） 西寮会議（後期活動総括） 2年生会議（次期役員選出）	貸与備品調査 新3年生会 卒業退塾と部屋割作業 新入塾生居室準備	在塾生継続面接終了 2年生会 （委員長候補選出・新歓行事検討） 1、2年生会（新歓行事検討）	後期テスト集中月間 1、2年生会		
2	3 22 下旬 末 末日	節分（各寮豆まき実施） 平成25年度前期新旧委員会会議 次年度予算案作成 修生異寮へ移動 4年生卒業退塾	前期委員会発足 前期新旧委員会会議参加 部屋移動						学部生寮からの 新入寮生受入れ
			寮内環境整備（体育厚生部） 学年別集会の開催（1、2年生） 前期委員会と方針打ち合わせ 体育厚生部と方針打ち合わせ 4年生お別れ会、班会議 近隣清掃	寮生総会（後期事業報告・ 前期役員選出）	新3年生会 後期委員会総会及び 前期委員長選出	新入塾生居室準備 委員長候補立会演説会 24年度前期委員長選出 部長／班長決定 1、2年生会（新歓行事の準備）	継続面接まとめ 寮生総会（新歓行事打合せ・後 期事業報告・次期委員長及び部長 選出） 1年生会 部屋移動実施 新入塾生居室受入準備		
			4年生卒業退塾						
3	9 19 19 下旬 30	理事会 評議員会 防災訓練 入塾選考面接終了 新入塾生入寮式	新入塾生入寮・新歓行事開始						
			東寮総会 新歓行事準備、開始 新入塾生居室準備 寮内環境整備（体育厚生部） 班会議	寮生総会 （前期事業計画、新歓行事） チューター選任 学年末大掃除 新入塾生居室受入準備	新入塾生居室準備 新歓行事最終打合せ 新2・4年生への新歓説明会 学年末大掃除	各学年会（新入生受入れ準備） 北寮総会（新歓行事説明・承認） 北寮内外大掃除 チューター選任・新入生居室 準備	寮生集会（前期事業計画、 新歓行事）チューター選出） 避難訓練参加 委員会大掃除 新入塾生居室受入準備 3月27日新入生入寮・新歓	異寮研究発表会 新入寮生受入準備 留学生及び外部からの 新大学院生面接・入寮 異寮総会（次期役員選出）	

(7) 講演会、シンポジウム、セミナー、文化活動

年月日			
平成 24. 4. 8	演題	和敬塾、これからの 50 年—二十一世紀における日本の場所主義	
	講師	公益財団法人和敬塾 理事長	前 川 正 雄
平成 24. 5. 13	演題	昭和歌謡で綴る姉妹のハーモニー	
	講師	歌手	り ん & と も
平成 24. 11. 9	演題	場所主義について	
	講師	公益財団法人和敬塾 理事長	前 川 正 雄
平成 24. 11. 29	演題	東北大震災、初動と対策	
	講師	国交省東北地方整備局長	徳 山 日 出 男
平成 24. 12. 9	演題	Finding a Path in Global Society (グローバル社会における進路)	
	講師	在日米国大使館首席公使	カ ー ト ・ ト ン

(8) 教養講座

一流講師の直接指導を受けて、合宿や会食も取り入れ、お互いに切磋琢磨をはかっている。実施した講座と講師は下記の通り。

(講 座 名)	(講 師)	(講 座 名)	(講 師)
茶 道	江川 宗京	棋 道	津村 勲夫
空 手 道	岡 精近	書 道	岡本 光平
中 国 古 典 輪 読 会	信夫 息游	居 合 道	山崎 誉
直 心 影 流 法 定	〃	絵 画 研 究 会	上葛 明広
剣 道	塚本 博之	坐 禅	高石 昭二郎
柔 道	柏崎 克彦	グレートブックス研究会	犬塚 潤一郎

(9) 入塾選考

入塾選考は、入塾願書による選考の後、塾設立の趣旨、塾生活の内容を、DVD等を用いて理解させた上で面接を行い、入塾を決定している。なお、本年度の新入塾生は225名(含：留学生80名)であった。

(10) 留学生への援助

平成24年度は、192名の留学生が在籍し、日本人塾生との共同生活並びに行事や教養講座への参加・活動を通して、日本文化への理解を深めている。

2. 処務の概要

役員等に関する事項

(平成25年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	担任職務	現職
理事	前川 正雄	H24. 2. 1	理事長	Mayekawa Holding AG President
〃	前川 昭一	〃	塾長	志村産業(株) 代表取締役会長
〃	岩崎 嘉夫	〃	専務理事	専任
〃	栃木 弘義	〃	常務理事	〃
〃	石光 豊	〃		
〃	太田 朝生	〃		アリエステクノロジー(株) 取締役社長
〃	福原 毅	〃		
〃	松原 達哉	〃		東京福祉大学・大学院 学長
〃	藁谷 友紀	〃		早稲田大学 理事
〃	奥島 孝康	H24. 9. 24		公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 理事長
監事	笠原 将敏	H24. 2. 1		
〃	山内 豊	〃		公認会計士
評議員	加藤 英二	〃		余暇開発 コンサルタント
〃	加茂田信則	〃		一般財団法人深川高年齢者センター21 常務理事
〃	河合 素直	〃		早稲田大学 名誉教授
〃	田島 信元	〃		白百合女子大学文学部 児童文化学科教授
〃	英 勝之	〃		
〃	細越 峻	〃		
〃	前川 正	〃		(株)前川製作所 代表取締役社長
〃	松岡 章次	〃		“共創新地政学” 研究者
〃	宮野 忠夫	〃		(株)前川製作所 顧問
〃	渡邊 重範	〃		早稲田実業学校 学校長
〃	渡辺 光章	〃		

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 24. 6. 9	1. 公益財団法人和敬塾平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日期に関する事業報告に関する件	原案どおり可決
	2. 公益財団法人和敬塾平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日期に関する決算報告に関する件	原案どおり可決
	3. 平成 24 年度第一回評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	4. 平成 24 年度補正予算に関する件	原案どおり可決
平成 24. 9. 14	1. 臨時評議員会の目的である事項について評議員会の決議を書面決議にて行う件	原案どおり可決 (書面決議)
平成 25. 3. 9	1. 公益財団法人和敬塾平成 25 年度事業計画並びに収支予算に関する件	原案どおり可決
	2. 公益財団法人和敬塾長期修繕計画（平成 25 年度版）並びに資産取得計画（平成 25 年度版）に関する件	原案どおり可決
	3. 財団法人和敬塾創立時建造物群の登録文化財申請に関して	原案どおり可決
	4. 和敬塾塾則の変更に関して	原案どおり可決
	5. 評議員会招集に関する件	原案どおり可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 24. 4. 21	1. 財団法人和敬塾平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 1 月 31 日期に関する事業報告に関する件	原案どおり可決
	2. 財団法人和敬塾平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 1 月 31 日期に関する決算報告に関する件	原案どおり可決
	3. 理事会並びに評議員会開催に際する交通費に関する件	原案どおり可決
	4. 公益財団法人への移行に際する印鑑証明書発行等の費用に関する件	原案どおり可決
平成 24. 6. 23	1. 公益財団法人和敬塾平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日期に関する事業報告に関する件	原案どおり可決
	2. 公益財団法人和敬塾平成 24 年 2 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日期に関する決算報告に関する件	原案どおり可決
	3. 平成 24 年度補正予算に関する件	原案どおり可決
平成 24. 9. 24	1. 理事 1 名選任の件	原案どおり可決 (書面決議)
平成 25. 3. 19	1. 財団法人和敬塾創立時建造物群の登録文化財申請に関して	原案どおり可決
	2. 和敬塾塾則の変更に関して	原案どおり可決

4. 許可、認可及び承認に関する事項	該当なし
5. 契約に関する事項	〃
6. 寄附金に関する事項	〃
7. 東京都教育委員会の指示に関する事項	〃
8. その他重要事項	〃

大学別塾生数一覧表

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

No	大 学	一年生	二年生	三年生	四年生	大学院等	留学生	H25 年 日本人新入生	合 計
1	早稲田大学	51	28	33	19	21	109	51	312
2	東京大学	8	6	5	7	3	1	8	38
3	明治大学	5	3	1	0	0	0	9	18
4	東京理科大学	4	4	5	1	1	0	1	16
5	日本大学	7	2	0	0	0	0	4	13
6	法政大学	1	5	1	1	0	1	3	12
7	慶應義塾大学	1	3	1	1	1	0	4	11
8	上智大学	3	1	0	0	0	2	3	9
9	立教大学	2	0	1	0	0	0	6	9
10	学習院大学	0	4	1	1	0	0	2	8
11	東洋大学	1	3	1	0	0	0	2	7
12	國學院大学	2	1	0	1	0	0	2	6
13	中央大学	2	1	1	0	0	0	2	6
14	成蹊大学	1	1	0	0	0	0	2	4
15	青山学院大学	0	0	2	0	1	0	0	3
16	東京工業大学	1	1	0	0	0	0	0	2
17	成城大学	0	1	2	0	0	0	0	3
18	東京電機大学	2	0	0	0	0	0	1	3
19	国土舘大学	1	0	1	0	0	0	0	2
20	芝浦工業大学	0	1	1	0	0	0	0	2
21	首都大学東京	0	1	0	0	1	0	0	2
22	専修大学	0	0	0	1	0	0	1	2
23	大正大学	0	1	0	0	0	0	1	2
24	帝京大学	0	1	0	0	0	0	1	2
25	明治学院大学	0	1	0	0	0	0	1	2
26	駒澤大学	0	0	0	0	0	0	1	1
27	産業能率大学	1	0	0	0	0	0	0	1
28	順天堂大学	0	0	1	0	0	0	0	1
29	大東文化大学	0	1	0	0	0	0	0	1
30	多摩美術大学	0	0	0	1	0	0	0	1
31	獨協大学	0	0	1	0	0	0	0	1
32	電気通信大学	1	0	0	0	0	0	0	1
33	東京海洋大学	0	0	0	0	0	0	1	1
34	東京経済大学	0	0	0	0	0	0	1	1
35	東京農業大学	0	1	0	0	0	0	0	1
36	東京農工大学	0	0	0	0	0	0	1	1
37	日本歯科大学	0	0	0	0	0	0	1	1
38	武蔵大学	0	0	0	0	0	0	1	1
39	目白大学	1	0	0	0	0	0	0	1
40	金沢大学	0	0	0	1	0	0	0	1
41	近畿大学	0	0	0	1	0	0	0	1
42	同志社大学	0	0	0	1	0	0	0	1
43	長岡工業高等専門	0	0	0	1	0	0	0	1
44	横浜国立大学	0	0	0	1	0	0	0	1
	合 計	95	71	58	38	28	113	110	513

※ No.40～44 は、異寮に入寮した、平成 25 年度に首都圏の大学院へ進学する新入塾生です。